

# 東日本大震災で被害を受けた県営住宅の復旧工事を広く県民に紹介 — 県営日の出住宅(潮来市)の液状化対策工事 —

## 《県営日の出住宅の被災状況》

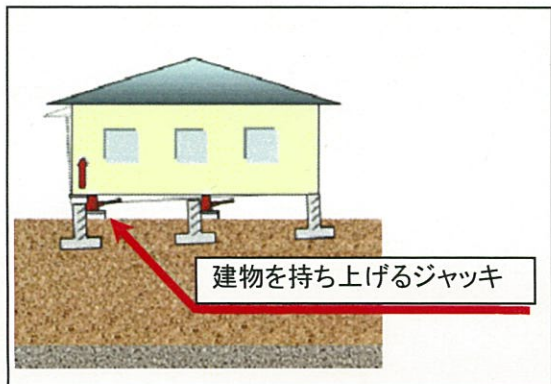
- 団地全体(1.7ha)が地盤沈下し、全住棟に不同沈下(max50cm)、傾斜(max30/1000)が発生しました。
- 道路、電気、給排水管等のライフラインの被害も大きく、電柱は全て傾斜し、一部の住棟では屋根が破損しました。



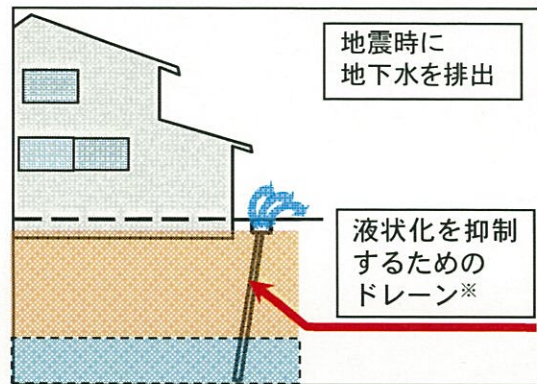
傾斜した電柱



傾斜した電柱による被害



ジャッキアップ工法



アースドレーン工法

## 【課題】

● 県営日の出住宅では、**全44棟が液状化**により被災しました。一方、液状化被害の復旧方法については施工実績が少ないため、被災者においては、**適正な工法の選定や費用の判断に苦慮**しておりました。

## 【対応・効果】

- このため、県では技術的な情報を提供するために、建物を持ち上げる**ジャッキアップ工法**や、液状化を抑制する**アースドレーン工法**について見学会を開催しました。
- 工事見学会と一般向け相談会を計4日間にわたり実施したところ、**延べ約390名の参加**がありました。



【復旧前】



【復旧後】

※ドレーンとは  
長さ約5m、直径約100mmの筒状のもの。建物の外周に約1m間隔で設置し、地震時に地下水を排出することで液状化を抑制



見学会の様子